

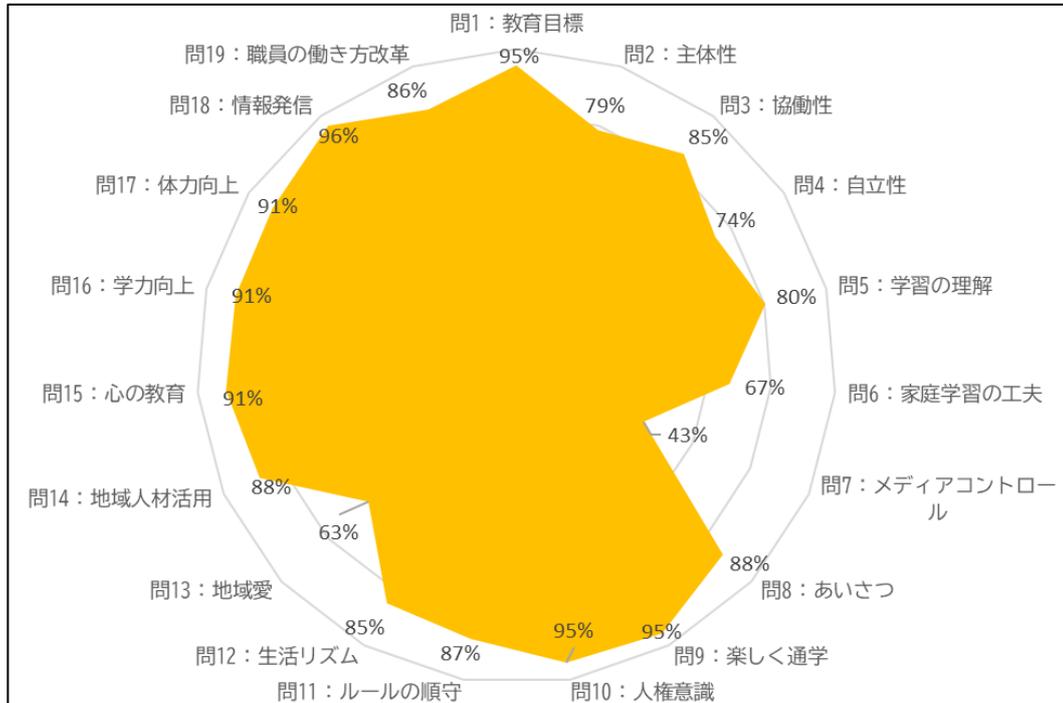
# 令和4年度万田小学校【1回目】学校評価アンケート集計結果

荒尾市立万田小学校 校長 北岡 誉久

先日ご協力いただきました、1回目の学校評価アンケートありがとうございました。本年度は2回の学校評価を実施することとしました。今回の結果を基に、修正できるところを検討し、夏季休業明けからの教育活動に反映させて参ります。

※グラフは、各質問項目において「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を併せた数値となっていますので、低い項目は「どちらかといえばそう思わない」「思わない」「わからない」の数値が高いことを意味します。

## 【保護者による評価】 回収率 82% ※昨年度回収率 60%



問1	万田小は、本年度の教育目標「誰もが活躍し、子供が自立できる学校」に向けた取組ができていると思いますか。	95%
問2	お子さんは、主体性(進んで挑戦しようとする姿)が身に付いていると思いますか。	79%
問3	お子さんは、協働性(仲間とともに高めようとする姿)が身に付いていると思いますか。	85%
問4	お子さんは、自律性(自分をコントロールする姿)が身に付いていると思いますか。	74%
問5	お子さんは、「学習内容がわかる」と言っていますか。	80%
問6	お子さんは、宿題や家庭学習を工夫して取り組んでいますか。	67%
問7	お子さんは、メディアの時間(スマホやテレビ、ゲームなど)をコントロールする力が身に付いていると思いますか。	43%
問8	あなたは、自分からお子さんに対して、明るく元気なあいさつをすることができますか。	88%
問9	お子さんは、楽しく学校に通うことができますか。	95%
問10	お子さんは、いじめを許さないなどの人権意識が育っていると思われますか。	95%
問11	お子さんは、約束やきまり(家庭内・学校内・交通ルール等)を守った生活ができていますか。	87%
問12	お子さんは、生活リズム(早寝・早起き・朝ご飯)の習慣が身に付いていますか。	85%
問13	お子さんは、地域とのつながり(地域での行事や活動等)を通して、地域への愛着が身についていると思いますか。	63%
問14	万田小は、お子さんの良さを伸ばすために、学校運営協議会や地域人材を活用した取組に力を入れていると思いますか。	88%
問15	万田小は、いじめや差別をなくするために、人権教育や心の教育に力を入れていると思いますか。	91%
問16	万田小は、学力を伸ばすために授業や個別指導などを工夫して行っていると思いますか。	91%
問17	万田小は、体力や健康面を考えた取組を工夫して行っていると思いますか。	91%
問18	万田小は、「学校だより・ホームページ・学級通信・安心メール等」で、学校や学級の様子を適切に伝えていていると思いますか。	96%
問19	万田小は、職員の働き方改革に向けた業務改善ができていていると思いますか。	86%

#### 【学校教育目標に関する内容 問1～問4】

- 学校教育目標に向けた学校の取組は、非常に高い評価がありました。教育目標を共有し、その実現に向けた日頃の取組が伝わっていると捉えます。
- 身につけてほしい3つの資質・能力の中で「協働性」も高い評価でした。このことは、学校力や学級力を向上させる取組への評価とも考えられます。
- ▲ 主体性と自律性については、いずれも80%を下回りました。特に、自律性については、ご家庭でも課題とされていることが見受けられました。グランドデザインにも示しているように、自分自身をコントロールできる姿を目標に取組を強化していく必要があると思います。また、主体性につきましても、子供たちが受け身にならず、一人一人が活躍できる場を作り出していくために、学校・家庭・地域が一体となって取り組んでいく必要があると考えています。

#### 【学習に関する内容 問5～問6】

- 学習内容がわかると言っているご家庭が多いことは大変うれしく思います。しかし、20%は、その逆の回答をしていることを念頭に置き、常に子供たちが「わかる・できる」と感じられる授業改善を進めていきたいと思えます。
- ▲ 宿題や家庭学習を工夫して取り組ませるためには、子供たちが工夫しなければ取り組めないような課題設定を考える必要があります。校内研修でもその点については、協議を重ね、子供たちが探求できる家庭学習を提案していきたいと思えます。

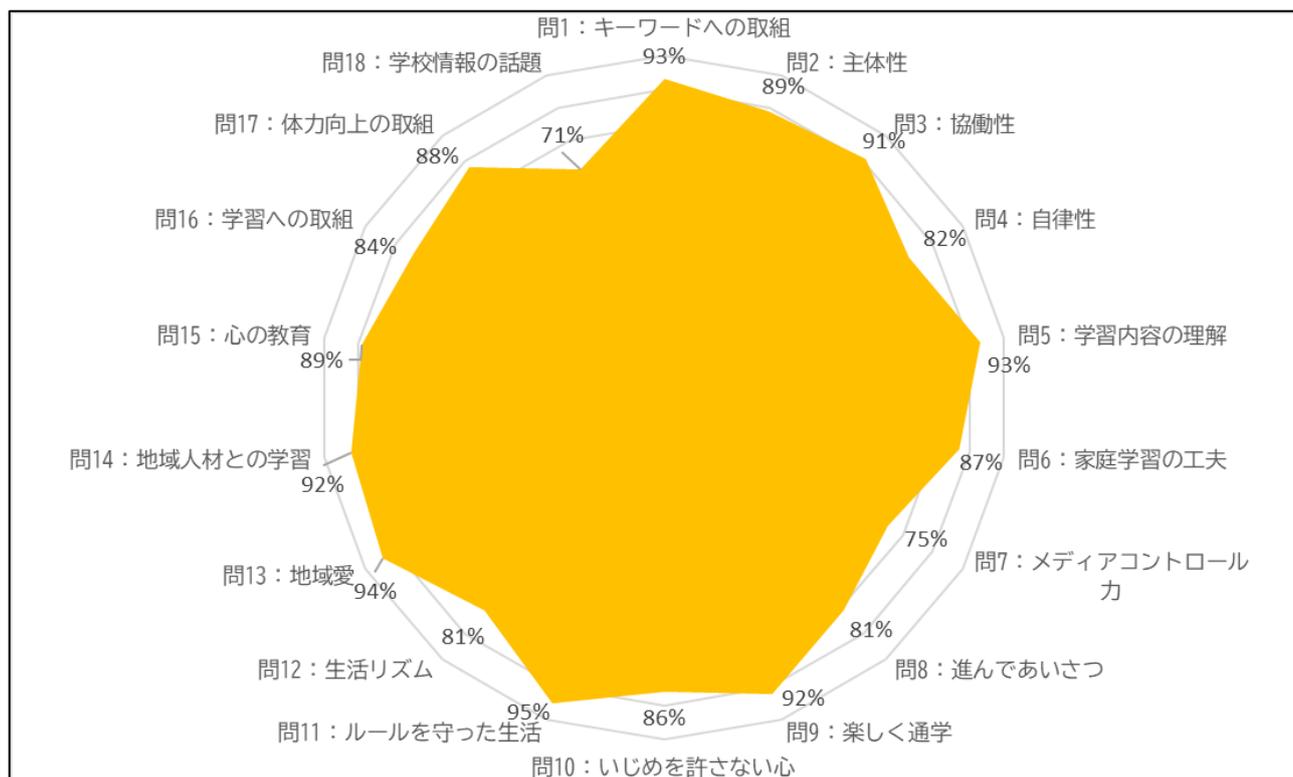
#### 【子供さんの様子や家庭生活及び地域とのつながりに関する内容 問7～問13】

- 「楽しく学校に通っている」「いじめを許さないなどの人権意識が育っている」という項目が95%になっています。子供たちにとって、学校が安心・安全な居場所となっていることを継続させていきたいと思えます。
- 各ご家庭で「自分からお子さんに対して、明るく元気なあいさつをすることができている」「約束や決まりを守った生活ができている」「生活リズムの習慣が身についている」といった項目において、各家庭で取り組んでおられることに感謝します。
- ▲ 問4にも通じる「メディアコントロール」に関しては、各ご家庭でも苦慮されていることがうかがえます。引き続き、ご家庭でルールを決めるといったことをお願いします。しかしながら、約4割のご家庭では「できている」という回答も見られます。この件については、本校PTAでも喫緊の課題だと考えているとのことですので、「できている」という取組については、PTAに情報提供をお願いします。
- ▲ 地域とのつながりを通じた地域への愛着については、児童会も様々な地域行事との連携を考え、提案していく予定です。20年後～30年後の地域社会を担う人材として、地域も一緒に取り組んでいきたいと思えます。

#### 【万田小の取組に関する内容 問14～問19】

- どの項目も非常に高い評価をしていただいています。特に、問18の学校の様子を伝える点については、今後もタイムリーかつ効果的な周知を進めて参ります。
- 問19の質問は、今回初めて記載させていただきました。子供たちと向き合う時間を確保し、元気ではつらつとした職員であり続けるためにも、本校職員の働き方改革を進めていきたいと思えます。

## 【児童による評価】



問 1	本年度のキーワード「みんながかつやく！一歩前進」に向けた取組ができていると思いますか。	93%
問 2	主体性(進んで挑戦しようとする姿)が身に付いていると思いますか。	89%
問 3	協働性(友達と協力しながら解決に導く力)が身に付いていると思いますか。	91%
問 4	自律性(自分をコントロールする姿)が身に付いていると思いますか。	82%
問 5	学校の授業(学習内容)はわかりますか。	93%
問 6	宿題や家庭学習を工夫してがんばっていますか。	87%
問 7	メディアの時間(スマホやテレビ、ゲームなど)をコントロールする力が身に付いていると思いますか。	75%
問 8	自分から家庭内や地域で明るく元気なあいさつをすることができますか。	81%
問 9	楽しく学校に通うことができますか。	92%
問 10	友達をからかったり、いじめたりすることを許さない心が身についていますか。	86%
問 11	学校や家、地域(公園など)での約束やきまり(交通ルールも)を守った生活ができていますか。	95%
問 12	生活リズム(早寝・早起き・朝ご飯)は守れていますか。	81%
問 13	地域とのつながり(地域での行事や活動等)を通して、万田小学校区や荒尾市のことを大切にしたいと思いますか。	94%
問 14	地域の人たちと一緒に学習や活動することは楽しいですか。	92%
問 15	いじめや差別をなくするために、道徳や人権集会で学んだことをいかして生活していますか。	89%
問 16	自分の学力をのばすために積極的に授業に参加したり、家庭学習に取り組んだりしていますか。	84%
問 17	体力の向上や健康面を考えた生活をおくっていますか。	88%
問 18	学校だよりや学級通信、ホームページを読んだり、おうちの人と話題にしたりしていますか。	71%

### 【学校教育目標に関する内容 問1～問4】

- 学校教育目標に向けた取組や3つの資質・能力（主体性・協働性・自律性）が身につけていることを肯定的に捉えている子供が多いことは大変喜ばしいと思います。特に問1と問3に関しては、9割以上が肯定的に受け止めています。
- ▲ 保護者や教職員の回答と比較してもわかりますように、大人の受け止めに「ずれ」があることについては、その要因を含めて注意深く見ていくとともに、子供たちにもわかりやすい具体的な姿を示すことも必要であると考えます。

### 【学習に関する内容 問5～問6】

- 「授業（学習内容）がわかる」と答えている子供は、全ての学年において90%を超えていました。
- ▲ 「家庭学習を工夫してがんばる」ことは、内容について工夫することですので、今後教師からもそういった課題を出すようにしていきたいと思います。

### 【生活及び自分自身のことに関する内容 問7～問12】

- 「楽しく学校に通うことができる」という項目について、90%を超える肯定的な回答でした。今後も引き続き、子供たちにとって安心・安全な居場所づくりを進めていきたいと思います。しかし、少数ながらその逆の回答をしている子供たちがいることへの対応も忘れてはならないと考えています。
- 「友達をからかったり、いじめたりすることを許さない心が身についていますか。」という問いに対して、85%を超える肯定的な回答がありました。いじめはよくないことであるという認識を多くの子供たちが持ち合せていることは喜ばしいと思います。しかし、いじめを許さないということを全ての子供たちが実践行動に移すことができるように、今後も粘り強く人権教育を進めていきます。
- ▲ メディア時間をコントロールすることについては、低い結果でした。本年度子供たちに身につけさせたい資質・能力の1つに「自律性」がありますが、自分をコントロールする力が備わるような取組を心がけていきます。

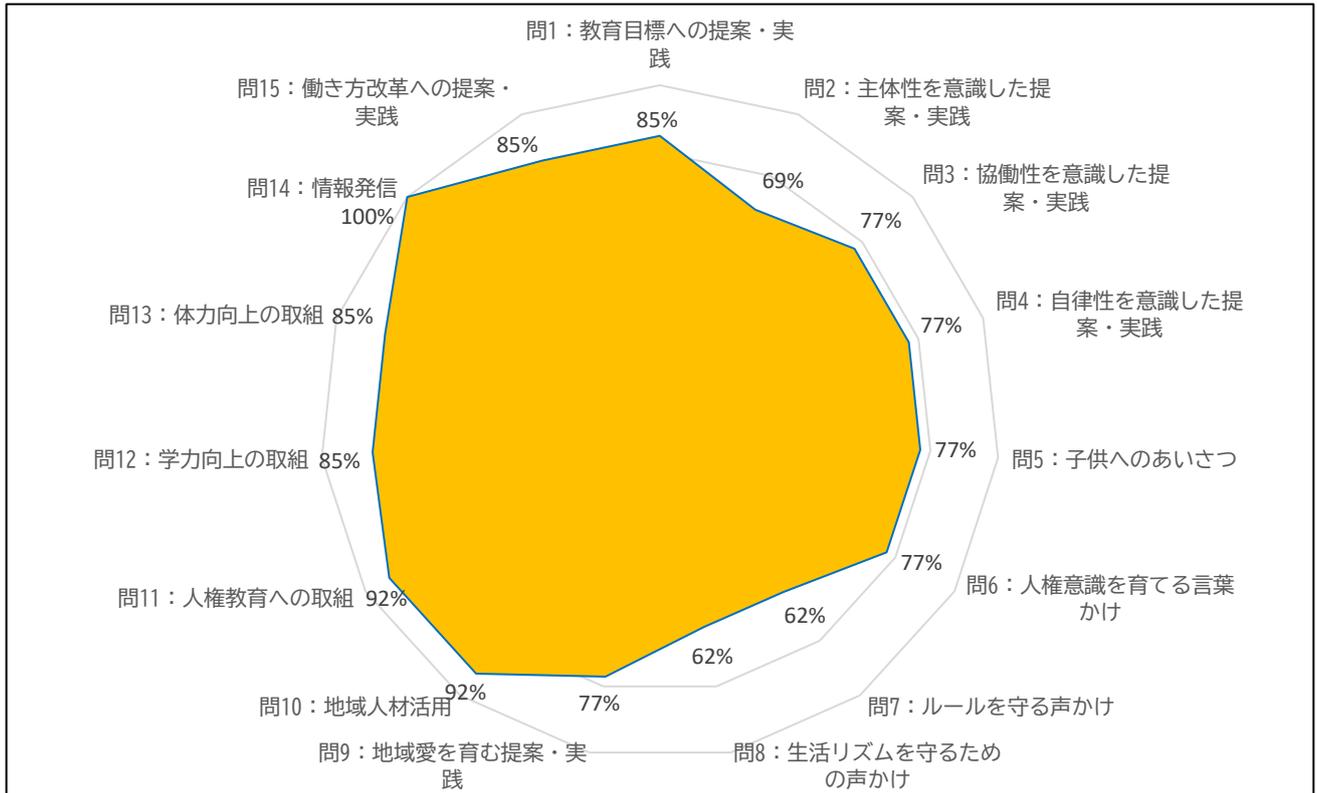
### 【地域とのつながりや学んだことを生かそうとすることに関する内容 問14～問17】

- 保護者や教職員の評価では高くなかった「問13や問14」の回答は90%を超えています。コロナ禍で外部との交流が減っていますが、各学年では、積極的に地域の教育力を導入していることなどから、地域愛が醸成されていると考えられます。今後も積極的に地域とのかかわりを大切にしていきます。
- ▲ 日常的に体を動かすことに関しては、二極化が進んでいます。運動の習慣化を図ることで、生涯にわたって体を動かすことの楽しさを味わえるように取り組んでいく必要があると考えています。

### 【学校からのお知らせを家族と共有することに関する内容 問18】

- ▲ 保護者の回答では、本校の情報発信に対して高い評価を得ていましたが、子供たちはこれらの情報を家族と共有していることに関して、70%止まりという結果でした。今後は、親子で話題にできるような学校だよりやHPの紙面づくりを工夫して行っていきたいと思います。

## 【学校運営協議会委員による評価】



問 1	あなたは、本年度の教育目標「誰もが活躍し、子供が自立できる学校」に向けた取組を提案又は実践されていますか。	85%
問 2	あなたは、子供たちの主体性（進んで挑戦しようとする姿）を意識した取組を提案又は実践されていますか。	69%
問 3	あなたは、子供たちの協働性（仲間とともに高めようとする姿）を意識した取組を提案又は実践されていますか。	77%
問 4	あなたは、子供たちの自律性（自分をコントロールする姿）を意識した取組を提案又は実践されていますか。	77%
問 5	あなたは、自分から進んで登下校など地域において、子供たちに明るく元気なあいさつをすることができますか。	77%
問 6	あなたは、子供たちに対して、いじめを許さないなどの人権意識を育てる言葉かけなどを行っていますか。	77%
問 7	あなたは、子供たちが約束やきまり（地域における交通ルールや帰宅時刻、公園などでの遊び方等）を守るような声かけや取組をしていますか。	62%
問 8	あなたは、子供たちの生活リズム（早寝・早起き・朝ご飯）の習慣が身に付くように、家庭への声かけや啓発等の提案又は実践をされていますか。	62%
問 9	あなたは、子供たちに対して、地域とのつながり（地域での行事や活動等）を通して、地域への愛着を身につける提案又は実践をされていますか。	77%
問 10	万田小は、子供たちの良さを伸ばすために、学校運営協議会や地域人材を活用した取組に力を入れていると思いますか。	92%
問 11	万田小は、いじめや差別をなくすために、人権教育や心の教育に力を入れていると思いますか。	92%
問 12	万田小は、学力を伸ばすために授業や個別指導などを工夫して行っていると思いますか。	85%
問 13	万田小は、体力や健康面を考えた取組を工夫して行っていると思いますか。	85%
問 14	万田小は、学校や学級の様子及びお知らせ（学校だより・ホームページ・学級通信・安心メール等）を適切に伝えていると思いますか。	100%
問 15	万田小の働き方改革に向けた業務改善について、提案又は実践をされていますか。	85%

#### 【学校教育目標に関する内容 問1～問4】

- 教育目標の実現に向けた提案や実践については、各委員の皆様も高い評価をされました。教育目標を共有していくことの大切さを感じています。
- ▲ 子供たちが身につけてほしい3つの資質能力（主体性・協働性・自律性）については、低い評価となっていました。今回から、この質問事項に限らず、全体的に「提案又は実践をされていますか」という質問内容に変えています。学校運営協議会委員の方々にも積極的に提案をしていただくためです。今後、会議や意見交換会の際にご意見をお伺いしていきたいと思ひます。

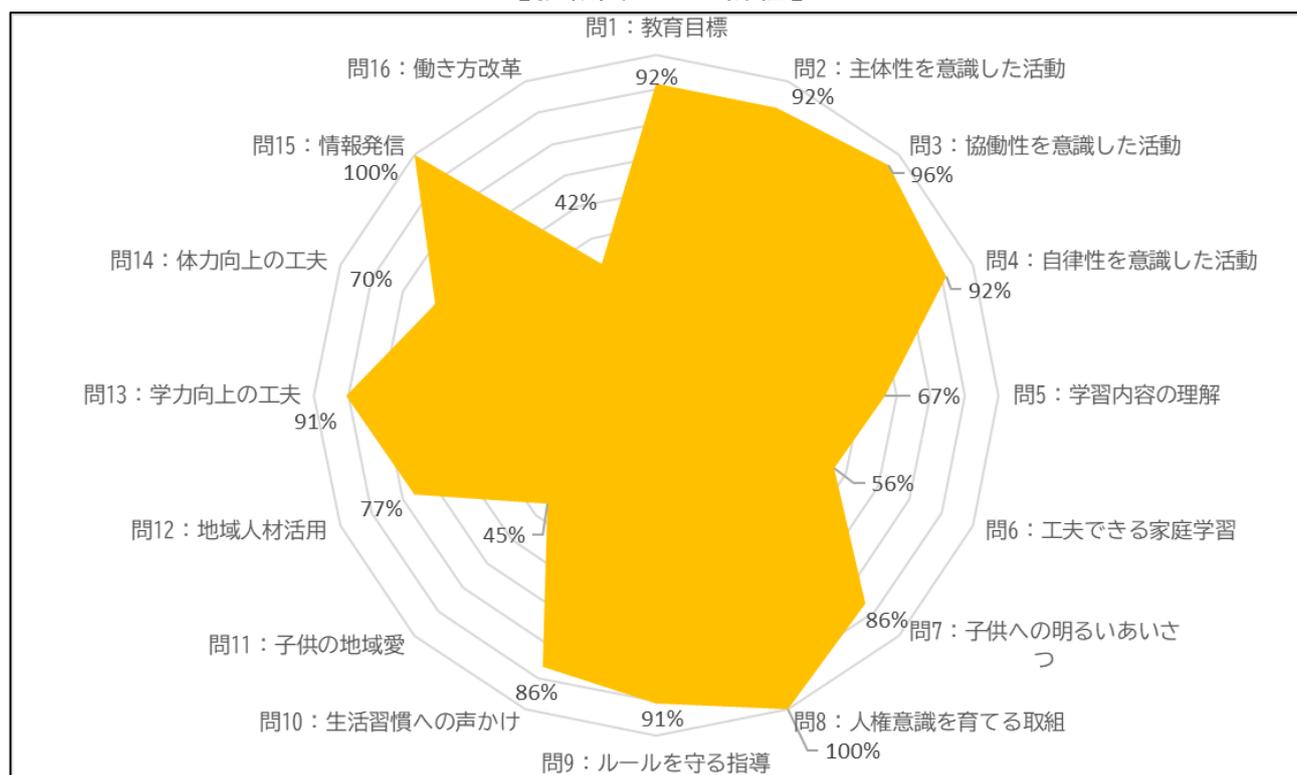
#### 【子供たちへの生活や規範意識、地域愛の育成に関する内容 問5～問9】

- ▲ 前述のとおり、子供たちへの声かけや提案を今後の会議や意見交換会でお伺いしていきたいと思ひます。

#### 【万田小の教育活動に関する内容 問10～問15】

- いずれも高い評価をいただいています。今後も学校運営協議会では、学校運営とともに進めていくために、学校教育目標の実現に必要な取組や課題を常に共有し、熟議を重ねていきたいと思ひます。そして、子供が自立する（子供が育つ）ために必要なことを出し合い、検証していけるようにしていきます。
- もう一つ高い評価をいただいた「学校からの情報発信」につきましても、学校だよりやHPについて、委員の皆様にも常に共有できるようにするとともに、「伝える」で終わらず、「伝わる」紙面の工夫を行ってまいります。
- 本校の人権教育や学力向上の取組につきましても、直接授業の様子などを参観していただけるように、日程等を早めにお伝えしてまいりますので、ご都合のつかれる範囲で遠慮なく学校に足を運んでいただきたいと思ひます。
- 本校の働き方改革につきましても、職員の評価が低いこと（42%）が大きな課題です。ご存じのとおり、全国的な教員不足により、本校でも定員に2名足りない状況で教育活動を進めています。そのため、超過勤務の基準（月45時間・年360時間）を大きく上回っている職員が多いのも事実です。今後は、学校運営協議会の中でも議題に取り上げていく必要があると考えています。「教師でなければできない業務」「教師でなくても可能な業務」「教師がやるべきでない業務」を確認・整理し、家庭や地域にもご理解とご協力をお願いすることになると思ひますので、その際はよろしくお願ひします。

## 【教職員による評価】



問 1	『あなたは、本年度の教育目標「誰もが活躍し、子供が自立できる学校」に向けた取組ができていますか。』	92%
問 2	『あなたは、主体性（進んで挑戦しようとする姿）を意識して教育活動に取り組んでいますか。』	92%
問 3	『あなたは、協働性（仲間とともに高めようとする姿）を意識して教育活動に取り組んでいますか。』	96%
問 4	『あなたは、自律性（自分をコントロールする姿）を意識して教育活動に取り組んでいますか。』	92%
問 5	『子供たちは、「学習内容がわかる」と思っていますか。』	67%
問 6	『子供たちが、工夫して取り組める宿題や家庭学習を出していますか。』	56%
問 7	『あなたは、自分から子供たちに対して、明るく元気なあいさつをすることができますか。』	86%
問 8	『あなたは、いじめを許さないなどの人権意識を育てる指導や取組をしていますか。』	100%
問 9	『あなたは、子供たちが、約束やきまり（家庭内・学校内・交通ルール等）を守るような指導や取組をしていますか。』	91%
問 10	『あなたは、子供たちが、生活リズム（早寝・早起き・朝ご飯）の習慣を身に付けるような声かけをしていますか。』	86%
問 11	『子供たちは、地域とのつながり（地域での行事や活動等）を通して、地域への愛着が身についていると思いますか。』	45%
問 12	『あなたは、子供たちの良さを伸ばすために、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）や地域人材を活用した取組に力を入れていますか。』	77%
問 13	『あなたは、子供たちの学力を伸ばすために、授業や個別指導などを工夫して行っていますか。』	91%
問 14	『あなたは、子供たちの体力や健康面を考えた取組を工夫して行っていますか。』	70%
問 15	『あなたは、学級や子供たちの様子及びお知らせを適切に伝えていきますか。』	100%
問 16	『あなたは、働き方改革に向けた業務改善ができていますか。』	42%

#### 【学校教育目標に関する内容 問1～問4】

- 4つの項目ともに高い自己評価を示しています。学校教育目標や身につけてほしい3つの資質能力（主体性・協働性・自律性）を常に意識して取り組んでいることがわかります。

#### 【学習に関する内容 問5～問6】

- ▲ いずれも低い評価となりました。学力の二極化に対応するためにも、基礎・基本の定着を図る時間を設定できるようにしていきます。また、家庭学習に対して子供たちが工夫して行うような手立てを現在全職員で検討しているところです。基礎・基本の定着も大切ですが、生涯にわたって学び続ける習慣形成につなげる家庭学習への転換を進めていきたいと思えます。

#### 【子供たちの生活等に関する内容 問7～問10】

- いずれも高い評価となっています。引き続き、全職員が同じスタンスで「いじめを許さない」といった人権意識の醸成を進めていきたいと思えます。また、「教師の姿こそ最大の教えである」ことを心がけて、自ら進んで元気なあいさつを行って参ります。
- 生活リズム等への声かけは、ご家庭とも連携をしながら進めて参ります。

#### 【地域とのつながりや連携に関する内容 問11～問12】

- ▲ 子供たちの評価と大きく乖離していたのが問11「地域への愛着」でした。本年度から地域を大事にする子供が育つように総合的な学習の時間を系統的に位置づけました。万田小が好き、荒尾市が好きと思う子供が育つように、全職員が自信を持って言えるようにしていきたいと思えます。
- ▲ コロナ禍で停滞していました地域人材の活用については、「どうすればできるのか」という発想に切り替え、工夫しながら進めていきます。「様々な地域の大人のシャワーを浴びて、子供たちが育つ環境づくり」を大切にしていきたいと思えます。

#### 【教職員自身の取組に関する内容 問13～問16】

- 子供たちの学力保障に向けた取組や学校からの情報提供（学級通信やHP等）については、意識して取り組んでいることがわかります。ただし、「伝える」と「伝わる」ことは違いますので、今後も「伝わる」情報提供を心がけていきたいと思えます。
- ▲ コロナ禍や熱中症対策などもあって、体力向上に向けた思い切った取組ができていないのは事実です。体育の授業において、運動量の確保や子供たちが苦手意識を持たないような場の工夫及び技術の習得に向けた取組を進めていく必要があります。また、体育の授業をきっかけとして、自発的に体を動かす子供たちを増やすようにしていかなければならないと思えます。
- ▲ 働き方改革については、「時間外勤務において、原則月 45 時間、年 360 時間」の規定が適用されました。しかしながら、本校では6月期の時間外勤務が、月 60 時間を超過していた職員は 27 名中半数近くいました。全国的に問題となっています教職員不足により、本校も定員に満たない状況であり、そのしわ寄せも要因の一つです。  
職員が心身ともに健康な状態で子供たちに向き合うためにも、校務改革を進めることは急務ですが、ご家庭や地域の協力も必要ですのでご理解をお願いします。